

第5号

1996.1月1日 高岡市消防団第五分団発刊
印刷 (株)モトヨシ美術印刷



「纏」によせて、お礼の言葉

第五分団分団長 沙魚川 弘

日頃私共消防団第五分団の消防活動に對しまして、格別のご理解を賜り心から御礼申し上げます。

このたび、当分団の「纏」を校下有志の方々のお力により新調することができました。今までの「纏」が、明治二十七年の高岡消防組時代からのもので、約百年も経過し、古くなっておりました。そこで団員の象徴である今までの「纏」は歴史を語る貴重な資料として保存し、新調すればという提案により、校下有志の方々にご相談いたしました。皆様快くご賛同いただき、ご芳志を賜りまして、立派な「纏」が仕上がり入魂することができました。

百年というこの大きな節目に、校下有志の方々により新調していただきましたことは、団員一同の大きな励みであり、この「纏」の基、団員一丸となり、消火活動に、防火思想の啓発に尚一層の精進に努め、成美校下を守るため更なる努力をお誓い申し上げます。

これからも皆様方のご指導ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。

レイアウト
小嶋 仁子



『纏』が新しくなりました

平成7年12月10日、新調された纏の入魂式が熊野神社で厳かに行われました。



▲熊野神社での入魂式

江戸時代から火事といえば纏で、纏のもとに総力を結集して消火作業を行い、纏が火を消したとまで言われました。

私達の消防団の歴史は、高岡警防団と称し、団長、分団長と呼ばれるようになったのは、昭和14年からで、この組織は昭和22年まで続きました。

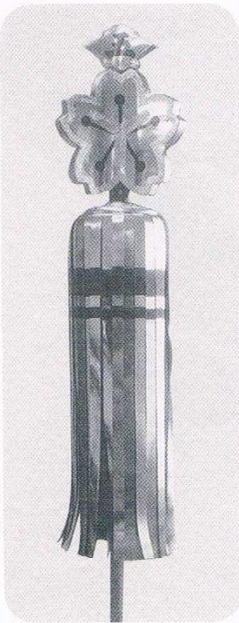
これ以前の記録としては、明治27年に高岡消防組と称していた時代です。

現在まで使われていた纏は、その当時の消防組からの物と言われられており、100年の歳月を経た物と言われています。

木遣の唄われる中、纏が参列された方々に披露されました▶



▶新調された纏



三二歴史

＝高岡消防団の発足＝

- 消防組規則
(明治二十七年二月九日勅令第十五号)
- 第九章 器具
- 第三十六条 消防組ニ左ノ器具ヲ備フ其部数ニ分割シタルモノハ每部ニ之ヲ備フ但土地ノ状況ニ依リ器具ヲ増減スルコトヲ得
- 火防ニアリテハ
- 一、纏
 - 一、旗
 - 一、高張提灯
 - 一、提灯(組頭ハ騎馬提灯小頭以下ハ弓張提灯)
 - 一、唧筒(土地ノ状況ニ依リ龍吐水ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得)
 - 一、大桶 一、小桶又ハ布袋
 - 一、梯子 一、刺又
 - 一、引網 一、鳶口
 - 一、斧 一、鋸

消防組名称	消防組設置区域	消防組定員	部別	小頭及消防手配置
高岡消防組	高岡市一円	211人 内 組頭 1人 小頭 10人 消防手 200人	第1部 1人 第2部 2人 第3部 3人 第4部 4人 第5部 5人	小頭 2人 消防手 40人

組織 部名	人員		機 械 器 具				備 考
	小頭	消防手	腕用ポンプ	龍吐水	破壊機械	器具置場	
第1部	2	40	1	2	一式	警察署構内	破壊機械は鳶口、引網、刺又、斧、掛矢等
第2部	2	40	1	2	一式	定塚町(坂下町十字路)	
第3部	2	40	1	2	一式	木船町水溜前	
第4部	2	40	1	2	一式	横田有磯神社境内	
第5部	2	40	1	2	一式	油町交番所後方	
合計	10	200	5	10			

明治二十七年(一八九四)二月九日、勅令第十三号をもって消防組規則が制定され、同年五月十八日富山県令をもって消防組施行細則が発令された。この規則の制定により我が国の消防は新時代を迎えることとなった。

九) 警防団に改組されるまで継続した。

これによって消防組は公設機関としての地位が確立し、昭和十四年(一九三

消防組規則(勅令)の制定と
消防組施行細則の発令(県令)



歴史的災害の
教訓を生かして



高岡市総合防災訓練

H7. 10月14日(土)



救出・救護活動を行う第五分団員

《備えあれば憂いなし》

成美連合自治会長 中村 良蔵

十月十四日、高岡市総合防災訓練が成美小学校を中心に実施された折、各自治会をはじめ、校下各種団体の積極的な参加をいただき、本当に有難うございました。

私の訓練に参加した感想を申し上げますと、全体として参加者の危機感が足りなく、関係機関の行動にも少し覇気があれば、避難参加者もその気になり、訓練も盛り上がったのではないかと思います。

消防団への私見を申し上げますが、これからの消防団活動は消火以外に、救出・救助などに日頃の訓練や講習を活かし、有事には中核スタッフと言いますかプロボランティアとして、民間ボランティアにノウハウの伝授や指導的立場での活躍が期待されるものと思います。

私達の日常生活では、いつ、どこで、どの様な災害が起こるかわかりません。日頃から防災を意識し、対策や準備を怠りなく心掛けて、「備えあれば憂いなし」という心境に少しでも近づけたらと思います。

十月十四日(土)

高岡市総合防災訓練実施



《地域に根ざした

学校を目指して》

高岡市立成美小学校 校長

村田 郁雄

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、市民と防災関係機関が連携し、本校のグラウンドで総合防災訓練が実施されました。四・五・六年生の全児童も参加し、応急処置や防災訓練などを体験しました。

このように、学校はまさに地域への発信地であり、地域の中核地でもあります。とりわけ、火災予防の普及や防火思想の啓発にあたっては、学校と地域が一体となって取り組まなければならないと思います。

この意味でも、これからはより一層、地域に根ざした学校づくりに努めたいと思います。

今後ともご支援ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

第五分団 纏新調

篤志者御芳名

(五十音順)

- 井川内科医院
- 岩崎齒科医院
- 江尻工業株式会社
- 株式会社オキタ
- 川田歯科医院
- 川田病
- 清都酒造場
- 熊木齒科医院
- 黒田病
- 株式会社沢田商店
- 三輝ビルド工業株式会社
- 三和運輸株式会社
- 株式会社柴田漆器店
- 曹栄工業所
- 高岡石油株式会社
- 株式会社高岡鑄芸社
- 丹保病
- 帝国金属株式会社
- 天理教中越分教会
- 徳田医
- 永井食販株式会社
- 日本曹達株式会社
- 高岡工場
- のと作銘木店
- 八田医
- ヒラキストア株式会社
- 大坪店
- 広島ポンプ商会
- 深島燃商
- 北陸電力株式会社
- 高岡営業所
- 藪正木材株式会社
- 藪山田木材株式会社
- 吉田内科病院
- 吉秀銅器製作所

五分団員表彰者

◇ 県知事表彰

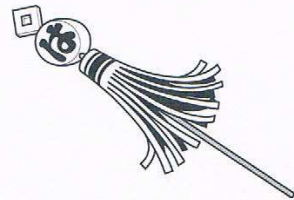
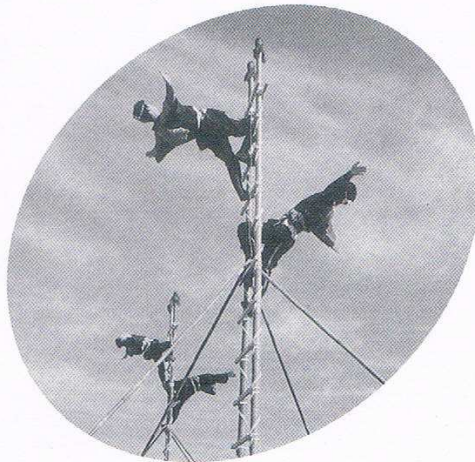
橋本米暁

◇ 市長表彰

吉田英喜
栗田実

五分団行事

- H7. 7月 9日 消防団員家族研修旅行
吉田科学館見学
宇奈月ニューオータニ (昼食)
- 8月20日 分団対抗ソフトボール大会 (3位)
- 11月 5日 秋季検閲訓練



● 消防出初め式
▽とき 1月6日(土) 午前9時30分から
正午▽ところ 城東1丁目・大野間の市道
(市堰病院前通り)▽内容 検閲と分列行進、
消防音楽隊とカラーガード隊のドリル演奏、
はしご乗り、木遣り唄いとまとい初振り、
腕用ポンプの初放水、一斉放水など
※一部交通規制が行われますので、ご協力
をお願いします。
▽問合せ先 消防本部警防課 ☎22-313

● 出初め式写真コンクール
▽題材 出初め式当日、会場内で撮影したもの
(一枚写真で、1人何点でも)▽サイズ
■小・中学生の部：サービスキャビネ判以上の
カラープリント ■一般の部：4つ切判以上の
カラープリント ※裏面に画題、住所、氏
名を記入した応募票(自作可)をはってくだ
さい。▽締切日 1月25日(木)▽提出先
市内のカメラ店または最寄りの消防署へ。▽
表彰 各部とも特選1点、優秀賞2点、優良
賞および佳作数点
▽問合せ先 消防本部予防課 ☎22-313

五分団 歳末消防特別警戒実施

12月28・29・30・31日

年末のあわただしい時期ですので、火の元には十分気を付け、地域住民一人ひとりが
火災の無い、住みよいまちづくりに努めましょう。

※五分団の校下への年始伺いは、1月5日に致しますのでよろしく願いいたします。